

大間原子力発電所審査資料	
資料番号	OM1-CA212-R00
提出年月日	2023年12月21日

大間原子力発電所

地震・津波関係に係る検討状況及び今後の工程について

2023年12月

電源開発株式会社

大間原子力発電所

地震・津波関係に係る検討状況及び今後の工程について

2023年12月21日

電源開発株式会社

(余白)

第1199回審査会合(2023年10月20日)の指摘事項を下表に示す。

No.	項目	指摘時期	コメント内容
S9-1	審査工程	第1199回審査会合 2023年10月20日	シームS-11の評価について、第一段階を優先して説明した上で、第二段階以降の評価については、結果を踏まえて柔軟に対応することとし、現地調査の時期を含め、一定程度の予見性を持ったスケジュールを説明すること。 また、地震動評価及び津波評価についても、全体の優先順位を考慮しつつ、スケジュールを説明すること。

地震・津波関係に係る検討状況について

大間の地震・津波関係の審議においては、「敷地地質」を優先し、「地震動」及び「津波」については、「敷地地質」の説明の合間に並行して説明する。

■ 敷地地質

➢ 「シームS-11の評価」は、第1199回審査会合(2023年10月20日)での評価方針の審議を受け、段階的に説明する。

(1)評価

- 第一段階 (本日のヒアリング)
 - シームS-11の変状有りを認定できる1箇所及び後期更新世以降の活動なしを認定できる1箇所についての調査・分析結果から、変状有り/後期更新世以降の活動なしの区分(以下「差別化」という。)に用いる指標の候補について説明する。
 - 平面及び深さ方向のデータに関わる、ボーリング・トレンチ等による追加調査計画の概要について説明する。
- 第二段階 (ヒアリング希望時期:2024年3月上旬)
 - シームS-11の変状有り/後期更新世以降の活動なしを認定できる残り4箇所について調査・分析を行い、第一段階で抽出した指標の候補を精査し、粘土質の薄層の有無、岩盤の風化程度等の地質性状の違いを考慮した指標の選定について説明する。
 - 平面及び深さ方向のデータに関わる、ボーリング・トレンチ等による追加調査計画の詳細及び得られている結果についても説明する。
- 第三段階 (ヒアリング希望時期:現地調査(1回目)実施後)
 - 追加調査を含む敷地全体のボーリング・トレンチ等の調査結果から、各々の調査位置でのシームS-11の性状を把握し、第二段階で選定した指標が差別化に適用できることについて説明する。
 - シームS-11の変状有り/後期更新世以降の活動なしを認定できる箇所と同様の性状を有する部分の領域の設定について説明する。
- 第四段階 (ヒアリング希望時期:第三段階と同時)
 - 変状有りとは認定できる箇所と同様の性状を有する部分に対する工学的対処の方針について説明する。

(2)現地調査

- 1回目 (希望時期:評価(第二段階)の審議後)
 - 第一段階、第二段階の評価に用いた露頭、コア、薄片等について、ご確認いただく。
 - 得られている追加調査結果をあらかじめ説明の上、ボーリング・トレンチ等をご確認いただく。
- 2回目 (希望時期:必要に応じ評価(第三段階、第四段階)の審議後)
 - 第三段階、第四段階の評価に用いた試料等、及び工学的対処を講じる範囲について、ご確認いただく。

■ 地震動

- 隆起域を考慮した仮想的な断層による地震の地震動評価 (ヒアリング希望時期:2024年1月中旬)
 - 震源モデル、検討ケースの設定等の評価方針について説明する。
- 海洋プレート内地震 (ヒアリング希望時期:隆起域を考慮した仮想的な断層による地震の地震動評価方針の審議後)
 - 「2022.3.16福島県沖の地震に関する知見を踏まえた地震動評価」について説明する。
- 震源を特定せず策定する地震動 (ヒアリング希望時期:隆起域を考慮した仮想的な断層による地震の地震動評価方針の審議後)
 - 「全国共通に考慮すべき地震動の評価」及び「地域性を考慮する地震動の評価」について同時に説明する。

■ 津波

- 地震による津波と地震以外の要因による津波の組合せ (ヒアリング希望時期:2024年3月下旬)
 - 第1204回審査会合(2023年11月17日)でのコメントに対する回答について説明する。

